



中村雀右衛門



八代目 尾上菊五郎



坂東彦三郎



市村橋太郎



片岡愛之助

松竹大歌舞伎

尾上菊之助改め八代目尾上菊五郎襲名披露

令和八年度(公社)全国公立文化施設協会主催

一、上^あ雨^{あめ}の五^ご郎^{ろう} 長嶺幸子連中

下^か藤^{ふじ}の娘^{むすめ} 長嶺幸子連中

二、^{八代目}尾上菊五郎 襲名披露

三、魚屋宗五郎 新血屋舗月雨傘

河口野阿弥作

二藤間助祖振付

上^{じょう}一^{いち}幕

幕

栃木県総合文化センター開館35周年記念事業
栃木トヨタ自動車 特別協賛プログラム 松竹大歌舞伎

令和8年(2026年) **7月17日(金)** 14:00開演 (13:15開場)

栃木県総合文化センター メインホール

入場料 全席指定 特等席 8,000円 一等席 7,000円 二等席 6,000円
(消費税込) 栃木トヨタ未来シート(二等席より選択可/開催日時時点で25歳以下) 3,000円

※車いす席をご希望の場合は栃木県総合文化センタープレイガイドまでお問い合わせください。

発売日 **5月16日(土)** ※窓口・WEB10:00~ ※電話14:00~

プレイガイド

● 栃木県総合文化センタープレイガイド(営業時間10:00~19:00)
☎028(643)1013
WEB <https://sobun-tochigi.jp/ticket.html>
● チケットweb松竹 <http://www1.ticket-web-shochiku.com/>



■主 催 / 公益財団法人とちぎ未来づくり財団
宇都宮市本町1-8 ☎028(643)1010 (文化振興課)

■共 催 / 栃木県・下野新聞社
■特別協賛 / 栃木トヨタ自動車株式会社 **栃木トヨタ80歳**



お願い
お断り

- 都合により時間、演目、出演者等が変更になることがありますので予めご了承ください。
- 会場には駐車場がございませんので公共交通機関をご利用ください。
- 就学前のお子様の入場はご遠慮ください(年齢にかかわらず1人1枚のチケットが必要です)。
- 公演中止以外の払戻しは致しかねます。 ● 同時解説イヤホンガイド実施あり。

松竹大歌舞伎

尾上菊之助改め八代目尾上菊五郎襲名披露

令和八年度
（公社）全国公立文化施設協会 主催

製作
松竹



菊之助改め
おのえきくごろう
八代目尾上菊五郎



かたおかあいのすけ
片岡愛之助



いちむらきつたろう
市村橘太郎



ほんどうひこさぶろう
坂東彦三郎



なかむらじゃくまもん
中村雀右衛門

一、
上雨あめの五郎ごろう

曾我五郎時致

片岡愛之助

長明囃子連中

二、
下藤ふじの精せい八代目尾上菊五郎

藤の精せい八代目尾上菊五郎

三浦藤間勘助 振付

娘むすめ

長明囃子連中

春雨の夜、蛇の目の傘をさして現れた曾我五郎は、大磯の遊女化粧坂の少將のもとへ向かっています。父の仇討ちの機会を五郎は心に秘めています……。曾我兄弟の仇討ちで知られる曾我五郎を題材にした舞踊です。廓通いをする五郎の色気と艶やかさ、荒事の豪快さや勇壮な立ち廻りなど、見どころ溢れる舞台です。

近江国大津にある古松の大木に垂れ下がった一面の藤の花房。その前に現れたのは、若い娘姿の藤の精。藤の枝を手にながら可憐に踊り始め……。六世尾上菊五郎により従来の曲に「藤音頭」という新たな曲を加え、ほろ酔い機嫌の娘姿で恋しい男性への想いを踊る振付が、今日まで親しまれています。人気舞踊の名作を是非お楽しみください。

三、
襲名披露 八代目尾上菊五郎 上じょう

幕

八代目尾上菊五郎
尾上菊五郎
中村雀右衛門
片岡愛之助
坂東彦三郎

八代目尾上菊五郎は、令和七年五月・六月に東京・歌舞伎座で尾上菊五郎の名跡を八代目として襲名しました。その後、各地で襲名披露を行い、この度はご当地の皆様にご挨拶を申し上げる華やかな一幕です。

三、
魚屋いさや宗五郎そうごろう

河竹黙阿弥作
新皿屋舗月雨傘

幕

魚屋宗五郎 八代目尾上菊五郎
磯部主計之助 片岡愛之助
宗五郎父太兵衛 市村橘太郎
家老浦戸十左衛門 坂東彦三郎
宗五郎女房おはま 中村雀右衛門

江戸芝神明界隈で魚屋を営む宗五郎は、奉公に出した妹のお葛が不義の疑いをかけられて旗本の磯部主計之助に手討ちにされたこと知り、女房のおはま、父の太兵衛と共に悲しみに暮れています。しかし、弔問に訪れたお葛の同輩から、お葛の罪は濡れ衣であると聞いた宗五郎。酒癖の悪さから禁酒の誓いを立てていましたが、やり切れない思いから酒を飲み始め、ついには飲み干してしまいます。酒乱となつて暴れ出した宗五郎は、妹の無念を晴らすために磯部邸に乗り込みますがそこへ家老の浦戸十左衛門が現れ……。

「播州皿屋敷」の趣向を取り入れた本作は、五世尾上菊五郎から依頼された名作者・河竹黙阿弥が執筆した傑作です。宗五郎の妹への思い、酒を飲み始めた宗五郎が次第に醗酵していく姿、宗五郎の怒りと悲しみが切実に伝わるせりふなど江戸の市井に生きる人々の姿を生き生きと描き出した生世話の世界をお楽しみください。

◆公演日程 ※公文協主催公演

※ 7/7 火	東京都北区	北とびあ
9 木	北海道札幌市	札幌市教育文化会館
※ 11 土	秋田県鹿角郡	明治の芝居小屋「康楽館」
※ 12 日		
※ 13 月	山形県山形市	山形市民会館
※ 14 火	千葉県千葉市	千葉県文化会館
※ 16 木	埼玉県越谷市	サンシティ越谷市民ホール（大ホール）

※ 17 金	栃木県宇都宮市	栃木県総合文化センター
※ 18 土	石川県小松市	團十郎芸術劇場うらら
※ 19 日	岐阜県岐阜市	ぎふしんフォーラム（岐阜市民会館）
※ 20 月	愛知県春日井市	春日井市民会館
※ 22 水	徳島県徳島市	あわざんホール（徳島県郷土文化会館）
※ 23 木	兵庫県赤穂市	赤穂市文化会館（赤穂化成ハーモニホール）
24 金	岡山県岡山市	岡山芸術創造劇場ハレノワ

※ 25 土	広島県呉市	呉信用金庫ホール
※ 26 日	大阪府岸和田市	南海浪切ホール（岸和田市立浪切ホール）
※ 28 火	静岡県静岡市	静岡市清水文化会館マリナート
※ 29 水	東京都立川市	たましんRISURUホール（立川市市民会館）
※ 30 木	神奈川県綾瀬市	綾瀬市オーエンス文化会館
※ 31 金	埼玉県秩父市	秩父宮記念市民会館